

## 財六甲台後援会だより

(16)

六甲台講堂修復のための募金と六甲台後援会へのご寄付について大袈裟な表現のように言われるかもしれませんが、この度、私たちは凌霜会員であることをお互いに誇りに出来る機会を持つことが出来ました。本誌前号(380号)でお願いした六甲台講堂修復のための募金がそれです。神戸大学六甲台後援会では、平成16年度から皆さんにお願いしてきました50周年記念事業とも関連した募金で1億8千万円を超える金額を頂戴したことを一つの背景として、以前にもご報告しましたように、本会から1億円を寄付することにしていました。これで予定通り本年10月31日(土)に予定されている第4回神戸大学ホームカミングデイは、新装なった講堂で執り行うことが出来ます。しかし、出来れば、綴帳その他の修復のためには更に4千万円ほどは醸金して貰えないかという大学からの要請に応じて、皆さんに一層の募金を呼びかけさせて頂きました。

ところがそのお願いに応えて、3月9日までに2,272万5千円を醸金して頂きました。僅か一カ月足らずの間に328名の方々が協力してくださいました。あまり多数の方々なので、ここでそれぞれのお名前と醸金額を列記することは避けさせて頂きます。これは前にも申し上げましたように、修復される六甲台講堂に、10万円以上の神戸大学基金へのご寄付者は銘板が掲げられることになっていきますのでご了承ください。その際、平成16年度以降六甲台後援会

に10万円以上ご寄付頂いた方々のお名前も神戸大学基金の銘板に登録されますと共に、六甲台後援会と今回の講堂修復のために100万円以上ご寄付頂いた方々のお名前は、講堂の座席のプレートに各々お名前を残すようにさせて頂くことになっていきますのでご了承ください。ともあれ、今回は匿名ご希望で1千万円をご寄付くださった方をはじめ、多くの凌霜会理事、評議員の方々が筆頭に先程取り上げた実に多数の方々からご協力頂きました。私たちは、こうして、凌霜会員の皆さんの母校愛と献身的なお気持ちとを身体で受けとめることが出来ました。事務局からも皆さんに代わってありがとうございますと心から申し上げたいと思います。

六甲台講堂へのご寄付のお願いもあって、前号掲載以降、六甲台後援会へのご寄付は、河合康美様(昭26)の10万円1件のみでした。しかし、ご承知のように、六甲台後援会では創立50周年記念事業として、3学部学生と4研究科院生(修士)を対象に前号(380号)にもご報告しておきましたように成績優秀者へ奨学金を差し上げ、更に4研究科(博士後期)の学生の海外派遣にそれぞれ100万円を支援する事業を立ち上げ、更にいくつかの事業も計画しています。ご承知のような世界同時不況下で、基金運営から上がってくる収益額は以前に比べて減少せざるをえない状況であります。ところが、法人化以降、大学間競争はいよいよ激しくなり、母校3学部、4研究科と研究所の飛躍的發展の必要性はいやが上にも増大しています。それを支えるためには、講堂修復の完成を区切りとして更に強力な皆さんのご支援をお願いしなければなりません。幸いにして一、二

の先輩からやがてまた送金してくださるとのお言葉も頂いています。皆さん、どうかよろしくお願い申し上げます。

ところで、いつもお願い申し上げますように、六甲台後援会へのご寄付につきましては、折り返し税法上の特別措置のある証明書付きの領収書をお送りすることになっています。六甲台後援会へのご寄付の送り先は以下の通りです。

◎銀行送金の場合（領収書送付が遅れないようにするため、必ず送金のことをご一報ください。）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金口座 4069496

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

(財)神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

国民経済雑誌 第198巻 第6号 (12月刊)

論 文

実践的持論の言語化が促進するリーダーシップ共有の連鎖……………	金井 壽 宏
企業の経営・人事戦略と能力開発……………	三谷 直 紀
モンテカルロ・シミュレーションによる人材採用・ 選抜方法の社会的影響に関する分析……………	高橋 潔
環境政策が企業の製品戦略に与える影響 —冷蔵庫産業における脱フロン化と省電力化—……………	伊藤 宗彦
米国低費用航空会社の競争行動と市場成果……………	村上 英樹

第198巻総目次